

P I S A 型学力の世界一は中国・上海に  
先生教育 (Teacher Education) が最重要

開倫塾  
塾長 林 明夫

1 . はじめに

- (1)おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただき、ありがとうございます。
- (2)パリに経済開発協力機構(OECD)という日本も参加している国際機関の本部があります。その OECD が、2000年から3年おきに15歳、高校1年生の学力が世界でどのようになっているかの調査をしており、これはPISA調査と呼ばれています。
- (3)水曜日ぐらいからニュースで話題になっていますのでご承知の方も多いと思いますが、この調査の結果が、12月7日の午後7時にパリの OECD の本部で発表されました。私は、6日の午後5時から東京の霞ヶ関の日本プレスセンタービルにある OECD の事務所で開かれた記者会見で、1日早くその様子をお聞きする機会がありました。そこで、今回は OECD の PISA 調査、つまり、15歳時の国際標準学力テストについてお話しします。

2 . P I S A 型学力の世界一は中国・上海に 先生教育 (Teacher Education) が最重要

- (1)第1回目の2000年のPISA調査では、日本がすべて1位。読む能力、理科の能力は日本が世界で1番でした。しかし、2003年と2006年はフィンランドが1位になりました。今回は、OECDの加盟国ではありませんが、特別参加の中国・上海地区が1位を取りました。上海が断トツの1位でした。すべての能力について1位を取りました。この結果に、日本国中、世界中の教育関係の方が驚き、おののいているということです。
- (2)2009年の調査では読解力では中国・上海が1位、2位が韓国、3位がフィンランドです。前回はフィンランドが1位でしたが、OECD諸国の中では韓国が抜きました。4位が中国・香港、5位がシンガポール、6位がカナダ、7位がニュージーランド、8位が日本、9位がオーストラリアという順番になっています。日本はOECD諸国の中では5番目、参加国の中では8番目でした。
- (3)数学的リテラシーについては、これも断トツ1位が中国・上海です。2位がシンガポール、3位が中国・香港でした。ここまではOECD諸国ではありませんでした。そして、4位がOECD加盟国の一つである韓国、5位が台湾、6位がフィンランド、7位がリヒテンシュタイン、8位がスイス、9位が日本、10位がカナダとなっています。日本は、OECD諸国の中では4番目ですが、参加国の中では9番目となっています。つまり、日本は参加国の中で読解力は8番目、数学的リテラシーでは9番目でした。

(4)そして、理科についての科学的リテラシーについては、これも断トツ 1 位が中国・上海、2 位がフィンランド、3 位が中国・香港、4 位がシンガポール、5 位が日本、6 位が韓国、7 位がニュージーランドとなっています。OECD 諸国の中ではフィンランドが 1 位で、日本が 2 位、3 位が韓国となっています。

(5)地域の参加をした中国・上海が、科学で 1 位、数学でも 1 位、読解力でも 1 位となりました。3 つの分野ともすべて 1 位を占めました。このことに皆さん驚いています。先日の記者会見でもパリの本部の方から解説がありました。なぜ上海が 1 位になったのかについては、いろいろな理由がありますが、1 番大事なことは先生の教育(Teacher Education)だと言っていました。2003 年と 2006 年に 1 位になったフィンランドも、やはり先生の教育に非常に熱心だったそうです。上海もフィンランドを見倣って、先生の教育をだいた熱心にしているようです。上海の先生方は毎年何百時間もの研修に参加しているようです。大学入試を PISA 型にすることで、思考能力を高めるような中学校や高校のカリキュラムにして、上海地域を挙げて教える内容を考えたということです。

(6)このようなことで、上海が世界で学力のナンバー・ワンになりました。これは、教育関係の方にとっては衝撃的でしたが、中国は本当にがんばっているんだなと私は思いました。

(7)日本は OECD 諸国の中では、前回に比べるとだいぶ成績がよくなったのですが、上海・香港・台湾などの OECD 以外の国々や地域がテストに参加し、上位に突然躍り出てきましたので、学力面でも日本はうかうかしてられません。先生方の教育をきちんとしたり、また、カリキュラムをきちんとしたりすることが大事になってくると思います。ただし、共通しているのは、新聞を含む読書をする子供たちは学力が高いと言われていることです。どうかゆっくりと、自分の楽しみとして読書をしたり、社会のことをよく知るために新聞を毎日読んだりしていただければ、学力も高まり世界的なテストでよい点が取れると思います。どうか日本もがんばっていただきたいと思います。

### 3. おわりに

日本の学力を大幅に向上させるためにはどうしたらよいか。私は、中国・上海と同様、先生の教育(Teacher Education)が最重要と考えます。皆さんはどのようにお考えでしょうか。

2012 年 8 月 20 日加筆・訂正、林明夫